

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	麻生区第4グループ(片平・岡上)	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 NPO法人児童育成会コッコロ ・代表者名 理事長 菅原 敬子 ・住所 川崎市麻生区岡上120-4	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	麻生区役所こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 片平こども文化センター</p> <p>①年間延べ利用者数 39,293人</p> <p>②年間延べ利用団体数 810団体</p> <p>2 片平小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 358人</p> <p>②年間延べ利用者数 18,245人</p> <p>3 栗木台小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 424人</p> <p>②年間延べ利用者数 18,791人</p> <p>4 はるひ野小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 491人</p> <p>②年間延べ利用者数 21,014人</p> <p>1 岡上こども文化センター</p> <p>①年間延べ利用者数 22,636人</p> <p>②年間延べ利用団体数 142団体</p> <p>2 岡上小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 140人</p> <p>②年間延べ利用者数 7,885人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入</p> <p>指定管理料 97,437,358</p> <p>2 支出</p> <p>人件費 82,279,118</p> <p>事業費 4,549,846</p> <p>事務経費 10,797,784</p> <p>その他経費</p> <p>合計 97,626,748</p> <p>3 差引 -189,390</p>
サービス向上の取組	子ども運営会議、保護者懇談会、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、活動や運営に反映。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) グループ合同行事として、黒川青少年野外活動センターを利用したお泊り会と、あさお福祉まつりにおけるダンス発表を行い、広範囲にわたって利用児童の増加につなげた。片平こども文化センターにおいては、地域の大学生が先生となって中学生に勉強を教える「もくもく学習室」を実施し、地域のニーズに応えている。岡上こども文化センターにおいては、地元の和光大学や町内会、ボランティアと連携して「ホテル鑑賞会」「和光大学吹奏楽部演奏会」「クリスマス会」等様々な行事を実施し、広範囲にわたって利用児童の増加につなげた。事業計画、仕様書のとおり事業が実施されており、こども文化センターにおける年間延べ利用者が昨年度に比べて約20%増加している。わくわくプラザにおいても、適切に児童の受入れが行われている。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
		計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的・効果的な支出			
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
サービスの水準を確保しているか					
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理については、適切に処理されている。サービスの水準を確保し、計画に基づき適切な支出を行った上で、文書の電子保存化による紙使用量の削減など、効率的な執行により経費縮減に取り組んでいる。約19千円の赤字決算となっているが、これはわくわくプラザ利用者(障害児含む)増により臨時職員を当初見込みより多く雇用したことが大きな原因となっている。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	3	6
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
<p>(評価の理由) 広報誌の配布地域の拡大など、施設、事業に対する周知広報や利用者への対応について、適切に取組が実施されている。運営協議会及び保護者懇談会を計画通り実施しているほか、地域の大学生による中高生向け学習支援「モクモク学習室」、市民活動団体「ひととゆめネットワーク」と連携した科学実験教室の実施、町内会主催の「おかがみふれあいまつり」において岡上こども文化センターが事務局を担当するなど、地域等と連携した取組が実施されている。意見箱の設置やホームページでの意見の受付など、複数の媒体を利用して利用者のニーズを積極的に聞く取組が行われており、職員のミーティングや法人役員会で運営への反映方法について検討し、仕組みが機能している。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	4	8
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおり人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 児童福祉施設最低基準及び仕様書の規定に基づくほか、利用児童数や特別な支援を必要とする児童などの状況に応じて、適切に追加がなされており、円滑な事業運営が行われている。また知的障害者福祉司任用資格者や元小学校養護教諭等を配置し、専門的知識を持った職員が直接児童の対応を行っている点を評価する。職員のスキルアップに必要な研修が適切に実施されている。個人情報についても、取扱が適正に行われている。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	3	3
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 施設設備の保守点検・整備や備品管理等については、適切に実施されている。安全管理や衛生管理について、マニュアル等を整備し適切に対応がされている。防災に関して、ランタンや非常食の備蓄等必要品の手配を実施しているほか、発電機や簡易トイレ、飛散防止型蛍光灯等の施設整備を検討している。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	64	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センターにおいては、地域の特性を活かし、地域と連携した取組みが多く実施されており、それが利用者の増加につながっていることは評価できる。
また、わくわくプラザにおいては特別な配慮を要する児童が多くスタッフの配置等に配慮を要するが、それらを適切に実施している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるような環境の整備を図るとともに、研修等を通じて、スタッフのスキル向上への取組みに努めていただきたい。
また、職員ミーティング等を活用し、スタッフ間での情報共有及び意見交換を積極的に推進していただきたい。